

看護実践開発学領域

Division of Innovative Nursing Practice

臨床・臨地の疑問、よりよい看護について
一緒に考えてみませんか？

看護実践開発学領域では、
エビデンスに基づく高い看護実践能力
社会背景の変化に伴い生じる**新たな看護の必要性に**
対応した看護開発能力
ケアの伝承を行う能力を有する看護職者を育成します



領域選定のきっかけ

身近な思いや疑問をきっかけに、
看護実践開発学領域での学びをはじめています

お気軽にご相談ください
一緒に学べることを
お待ちしております

多様化・複雑化する
医療・保健現場の
課題を見出したい

今まで**行ってきた**
看護が正しいのか
研究したい

看護の実践を
改善・改革していく
研究をしたい

根拠に基づいた
看護実践を研究し
社会に発信したい

研究内容

多くの看護の実践の場や対象に関する学
びを深め、**仲間・教員と共に**
ディスカッションしながら、**研究を進めます**

例：

- 心不全患者への介入効果
- デイサービス通所継続理由
- 地域包括支援センター専門職による認知症支援
- 骨形成不全症を持つ思春期患者の身体活動
- 入院中の外国人患者の医療の質向上
- 終末期せん妄と家族の思い
- 妊娠糖尿病の産後生活
- 発達障害のある看護師への支援
- 思春期発症がん患者の社会生活復帰
- 看護師を対象にしたレジリエンスの育成

履修モデル

Oさんの例

1年次				2年次			
前期		後期		前期		後期	
医療保健・管理概論 研究方法特論Ⅰ 研究方法特論Ⅱ 看護実践開発特論Ⅰ 看護実践開発特論Ⅱ 看護実践開発特論Ⅲ		死生学概論 看護実践開発特論Ⅳ					
通年 学術コミュニケーション特論 看護実践研究方法論 研究演習Ⅰ		通年 研究演習Ⅱ					
研究テーマの設定	文献検討	倫理審査	データ収集	分析	論文執筆	発表	



東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科

〒141-8648 東京都品川区東五反田4-1-17

TEL 03(5421)7685 ☑ info-master@thcu.ac.jp

五反田
キャンパス

入試情報



個別相談お申込み



看護実践開発学領域

教員の専門性

阿部 桃子
ABE MOMOKO
研究テーマ



- ・排泄に悩む高齢者と支援者を支えるケアに関する研究
- ・認知症を有する高齢者と支援者の関係形成・構築、ケアに関する研究

ひとこと

「研究」というレンズを通すと、ふだんの看護場面から、対象者にとってより善いケアがみえてきます。より善いケアを目指して、一緒に考え、学んでいきましょう。



谷本 真理子
TANIMOTO MARIKO
研究テーマ



慢性病を持つ人のセルフケア支援
高齢慢性疾患患者(非がん)のエンドオブライフケア
アドバンス・ケア・プランニング

ひとこと

日々の看護についての疑問や関心を種に研究してみませんか？
きっと「目から鱗」体験が待っています。



西村 礼子
NISHIMURA AYAKO
研究テーマ



看護教育における教育デザイン研究(学習成果・教育効果・研修効果の検証)
看護職コンピテンシーとアウトカムの研究
DX、シミュレーション、臨床判断、フィジカルアセスメント・実践能力・アウトカム評価、授業設計、FD/SD、カリキュラムマネジメント、教学マネジメント など

ひとこと

シームレスな基礎教育と継続教育を目指しています。次世代の看護人材育成に関する研究をご一緒にできれば幸いです！



廣島 麻揚
HIROSHIMA MAYO
研究テーマ



精神障がい者の社会参加に関する研究
うつ病患者の生活困難感に関する研究
発達障がいに関する研究

ひとこと

なぜ自分が看護に関わっているのか？いろんな角度からみて考えて、向き合い、言葉にする、そんなおもしろさを一緒に体験しましょう



渡會睦子
MUTSUKO WATARAI
研究テーマ



行政施策・保健師活動・公衆衛生活動評価 性感染症対策評価
小・中・高校・児童養護施設 保健教育
性教育・思春期教育 等

ひとこと

日頃疑問に思っていること、集団教育や公衆衛生活動の分析等、一緒に、興味がある内容を楽しく研究していきましょう



他の教員はこちら



修了生の言葉

小笠原あやめ

看護実践開発領域の授業は、日々の看護実践の中で改めてじっくり向き合いたい看護場面について先生方や院生同士のディスカッションを通して深掘りすることができ、大変有意義な機会となりました。

また、先生方のご指導のおかげで、2025年第6回日本看護シミュレーションラーニング学会にて修士論文テーマ「一分間指導法(One-Minute Preceptor Model)使用経験の有無と臨地実習指導者の指導との関連」の研究発表を行うことができ、優秀演題賞をいただくことができました。



野口健太郎



入学してよかったと思うことは、研究に関することはもちろん、これまでの臨床経験、看護を振り返り、同じ院生や先生方と議論を重ね、様々な視点からケアの可能性を探究できたことです。看護師としてまた一歩成長することができました。



東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科

〒141-8648 東京都品川区東五反田4-1-17

TEL 03(5421)7685 ☑ info-master@thcu.ac.jp

五反田
キャンパス

入試情報



個別相談お申込み

